学びスクエア　SDGs 持続可能な明日へ

18番目の付箋にマイ目標

ＳＤＧｓ目線で新聞を読み、気になる記事に関連するＳＤＧｓの17目標（ゴール）の付箋をコメントを添えて貼っていく――。本社ＮＩＥ事務局ではこうしたワークを通じて、みんなの意見や課題を見える化して共有するＳＤＧｓ出張授業を展開中です。副教材「ペタッとＳＤＧｓ新聞学習ふせん」（以下「ペタッと」、税込み550円）は中高中心に全国約80校の先生が導入し、応用して活用する学校も増えています。

今回は東京学芸大学付属世田谷中学校（東京）の金城和秀教諭(40)の授業を紹介します。アジア州の地理を学ぶ１年生の授業では、アジア州の白地図に「ペタッと」を貼ります。国や地域の課題をＳＤＧｓ目線で可視化するのが狙いで、コメント欄には「森林伐採禁止」「民族の対立」「核兵器禁止」などの書き込みがみられました。

自分で考えた課題を書き込める「ペタッと」18番目の白紙ゴール付箋の活用も特徴です。白地図ワークでの考察を踏まえ、出てきた18番目の目標は①「結婚したい人と結婚しよう」②「フェアな貿易で適切な利益を分かち合おう」など。①は地域の大半の国で同性婚が認められていないこと②は途上国と先進国との経済格差に触発されて生徒たちが考えました。「ペタッと」について金城教諭は「貼ったりはがしたりできるので自由に思考を整理できる。生徒が主体的に学習課題を掘り下げるうえで役に立つ」と話しています。

◎ 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。